

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年11月29日

計画の名称	3 雪寒地域における安心・安全な通行環境の整備												
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	京都市												
計画の目標	雪寒地域において、冬期の安心・安全な通行空間を確保するため、効果的な除排雪と適切な路面管理等を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	78	A	78	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	雪寒地域における冬期の通行止め時間の減少 雪寒地域における冬期の通行止め時間の減少 (通行止め時間の減少) = (現況の通行止め時間) - (事業後の通行止め時間)	2700時間/年	2675時間/年	2650時間/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

京都市で評価を実施

事後評価の実施時期

平成30年度末

公表の方法

京都市ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

平成28年度に多くの積雪があったが、その他の年では、速やかな除雪を行い、雪寒地域における冬期の通行止め時間を例年通りに抑えることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、限られた財源を有効に活用し、効率的・効果的な除雪を実施していく。

